

## 平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

|     |           |      |      |          |        |
|-----|-----------|------|------|----------|--------|
| 学校名 | 広島市立草津小学校 | 校長氏名 | 関本 宏 | 生徒指導主事氏名 | 志田 あすか |
|-----|-----------|------|------|----------|--------|

**取組事例名 『くさつピカピカプロジェクト』****取組のねらい『無言清掃』**

掃除の方法を統一して，無言清掃に取り組むことで，中学校区の目標の一つである「責任を果たすことができる」児童を育成する。

**取組の具体的内容『くさつピカピカプロジェクト』**

「くさつピカピカプロジェクト」

- ・環境美化委員会が中心となり，学級全体で取り組む。
- ・毎月第3週に無言清掃ができた人数などを学級内で集計する。
- ・学級の取組の結果を集計して，取組み結果がすばらしい学級は，給食放送で発表して賞状を渡す。
- ・環境美化委員会で無言清掃の方法を動画で撮り，学校全体で視聴する。

**取り組みの課題・創意工夫『動画』**

- ・掃除の方法を学校全体で視聴し，統一することで，教員全員で指導することができる。
- ・動画は，低学年でも理解しやすい。
- ・DVDを各学年に配布することで，担任がいつでも掃除指導に活用することができる。

**取組の成果（効果）『トラブルの減少』**

- ・方法を統一することで，掃除道具の扱い方が上手になったり，掃除がスムーズに進むことで，けがやけんかなどのトラブルが減少した。
- ・毎月3週目に，「くさつピカピカプロジェクト」を位置づけ，無言清掃ができた人数を集計することで，児童の意識を高めることができた。

**今後の展開『当たり前』**

- ・中学校の掃除の様子を小学校でも伝え，卒業後の自分たちの姿を明確にさせる。
- ・「中1ギャップ」を無くす一つの手立てとして，無言清掃が当たり前に見える児童を育成したい。
- ・来年度，担任がかかわっても，掃除指導がスムーズにできるようにするために，教員自身も統一した掃除の方法を理解して，学校全体で同じ指導が毎年できるようにする。

**他校へのアドバイス『小中連携』**

- ・中学校の掃除方法を参考に，小学校の掃除方法を定めることで，9年間を見据えた取組になる。
  - ぞうきんのかけ方やほうきの掃き方
  - 掃除の手順
- ・動画を撮影して，全校一斉で取り組む。
- ・委員会を活用する。

- 後ろ向きで「こ」をかくように拭いていく。



- 拭いたところから順番に机を運んでいく。



- 中学校の掃除風景（中学校区の3校が掃除を実際に見学するためお互い学校訪問をした）

